

科目番号	53008	分類	専門科目 看護基盤科学領域	履修者	看護科学コース	学年				
科目名	看護教育学特論Ⅱ (Advanced Course in Nursing Education 2)					1				
						配当セクター				
						後期				
担当者	○岩本 郁子・浦中 桂一			区分	選択	単位	2	時間数	30	
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
看護学教育における教育論・学習論、教育課程開発、教育方法、教育評価に関する基礎的な理論を学習し、看護学教育上の課題に対応したアプローチの方法を考察する							○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力		
【目標】							○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		
1. 看護学教育における教育論、学習論について理解する。							○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力		
2. カリキュラム開発、教育方法、教育評価に関する基礎的な理論について理解する。							○	4. 看護管理者として、臨床現場においてリーダーシップをとりながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力		
3. 看護学教育上の問題を分析し、新しいアプローチの方法を指向する。							○	5. 実践を行いながら学生の実地実習を指導できる能力		
授 業 計 画										
回	内 容								担当教員	
第1回	看護学教育の特徴 教育論 学習論								岩本	
第2～4回	看護学教育課程の考え方、意義 看護学教育課程に関する基礎理論 看護学教育課程編成と開発								岩本	
第5～9回	看護学教育方法 教育方法の概念 理論 教授－学習過程の捉え方と展開 授業案の作成と教材研究 臨地実習指導のあり方とその方法論								岩本	
第10回	看護学教育評価の考え方 教育評価の信頼性、妥当性								岩本	
第11回～ 15回	看護学教育上の問題の分析とアプローチ								岩本 浦中	
事前・事後 学習	事前学習：授業内容に必要な資料を復唱する。また場合によってはレポートを課す。 事後学習：配布資料・文献等を復唱する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み組むこと。									
評価の方法	授業参加度 20% プレゼンテーション40% 課題レポート40% フィードバック（意見交換・プレゼンテーションの総評、課題レポートの総評等）は適宜行う。									
参考図書 ・資料等	参考書・資料は適宜に紹介する。									
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ゼミナール形式。学生からの希望により内容を変更する。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 									